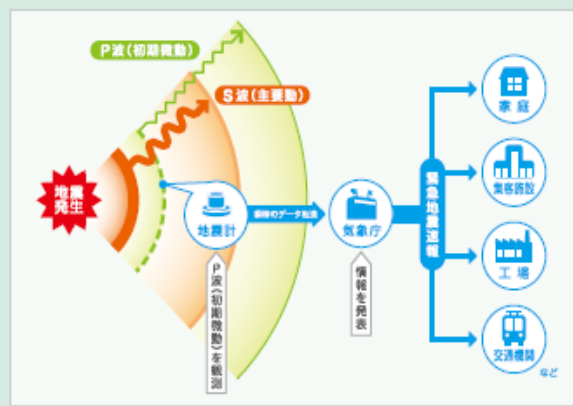


緊急地震速報のしくみ



- 震源近くで地震波(P波、初期微動)をキャッチし、震源や規模、想定される揺れの強さ(震度)等を自動計算
- 地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる前に素早くお知らせ
- 震度5弱以上を予測した場合に、緊急地震速報(警報)を発表
- 時間経過とともに精度がよくなる緊急地震速報(予報)を繰り返し発表

※震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合いません
 ※緊急地震速報(警報)を早いタイミングで発表できない場合があります
 ※予測した震度には±1程度の誤差を伴います

緊急地震速報は、どうやって聞くことができるの?



- テレビやラジオ*1を視聴時に、報知音とともにテロップやアナウンスが放送されます
- 緊急地震速報を受信できる携帯電話があります
- 自治体*1では、全国瞬時警報システム(J-ALERT)を用いた、防災行政無線による放送を行います
- 専用受信端末*2などでは、気象庁が発表する警報や予報のほか、独自に個別地点の震度を予測し、報知します

※1 準備の整った放送局や自治体から放送が開始されています
 ※2 緊急地震速報を受信し、音声報知や機器の制御を行うための装置
 専用受信端末を導入した事業者では、法人等の経費措置を受けられる場合があります

※ご注意ください!

気象庁が、国民のみならず受信装置の設置を義務づけたり、直接設置に伺ったりすることはありません!

- 緊急地震速報は、財団法人鉄道総合技術研究所と気象庁による共同技術開発と、独立行政法人防災科学技術研究所による技術開発の成果により可能となりました

いのち
**ぼくたちの命をまもる
 おしらせだ**

緊急地震速報

地震による強い揺れを事前にお知らせするための
 地震動の予報・警報です



国土交通省
気象庁

【お問い合わせ先】
気象庁 地震火山部管理課
 〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号
 電話：(03)3212-8341(代表)

詳しくは
 気象庁 ホームページ
<http://www.jma.go.jp/>

まわりの人にも声をかけながら

地震の揺れを感じたら...

(緊急地震速報がなくても)

あわてず、まず身の安全を!!

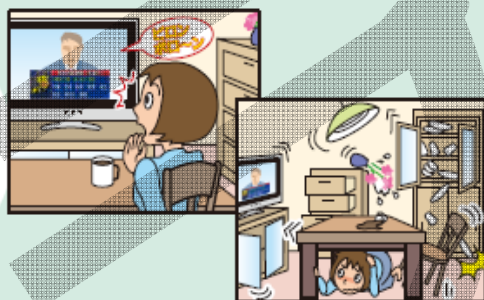
緊急地震速報を見聞きしたら...

(地震の揺れを感じなくても)

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は数秒から数十秒しかありません

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



自動車運転中は

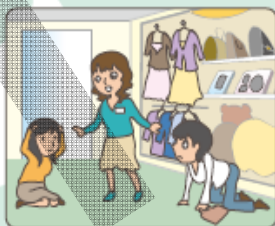
- あわててスピードをおとさない
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす

緊急地震速報



人が大勢いる施設では

- 係員の指示にしたがう
- あわてて出口に走り出さない



屋外(街)では

- スロッキン塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

